

対象校No. 992

注4

学校コード F140110110592

注3

事前相談 (JD)

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

注2

九州大学大学院 人間環境学府 九州大学・釜山大学校都市・建築学国際連携専攻（博士後期課程）

## 【事前相談（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正後大学設置基準適用）

国立大学法人九州大学  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 人文社会科学系事務部総務課

職名・氏名 カカリテヨロハタ カスタカ  
係長・小島 一孝

電話番号 092-802-6302

（夜間） 092-802-6302

e-mail jbsyomu1@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、

該当番号を記載してください。

# 目次

大学院人間環境学府

＜九州大学・釜山大学校都市・建築学国際連携専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教育研究実施組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人九州大学

【連携外国大学の設置者】大韓民国 教育部 Ministry of Education of Korea

## (2) 大学名

九州大学

【連携外国大学の名称】

Pusan National University

## (3) 調査対象大学等の位置

〒819-0395

福岡県福岡市西区元岡744

【連携外国大学の本部の位置】

2, Busandaehak-ro 63beon-gil, Geumjeong-gu, Busan, 46241, Korea

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を ( ) 書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イハシ タツヨ) 石橋 達朗 (令和2年10月)		
学府長	(タケマ ヒサ) 竹熊 尚夫 (令和6年4月)		
専攻長等	(オザキ アキト) 尾崎 明仁 (令和6年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( ) 書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
九州大学大学院 人間環境学府 九州大学・釜山大学 校都市・建築学 国際連携専攻 博士(工学)	工学関係	3年	<40> 2人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	<120> 6人	-	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( ) 書きて記入してください。
- ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・< >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	2 [-]	1 [-]	1 [-]	2 [-]	春季入学以外の学期区分を設ける予定	0.25倍	-	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	2 [-]	0 [-]	0 [-]	0 [-]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳			
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	2 [-]	0 [-]	0 [-]	0 [-]	入学時期: 10月 入学定員: 1人			
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	2 [-]	0 [-]	0 [-]	0 [-]				
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	2 [-]	0 [-]	0 [-]	0 [-]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	0.00	0.00	0.00				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「-」を記入してください。
  - ・「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。(例)「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
  - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」、 「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ 2 ] ( - )	[ 0 ] ( - )	[ 0 ] ( - )	[ ] ( )	
2年次			[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ 1 ] ( - )	[ ] ( )	
3年次					[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	
4年次							[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	
計	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ 2 ] ( - )	[ 1 ] ( - )	[ 1 ] ( - )	[ ] ( )	

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「-」を記入してください。
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。  
(例) 「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和6年度	2人	1人	令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
			令和5年度	-人	-人	
令和7年度	1人	0人	令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
			令和5年度	-人	-人	
			令和6年度	1人	1人	[他大学入学のため]
合計		1人		1人	1人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」のように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{2} = \boxed{50} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間環境学部 九州大学・釜山大学校都市・建築学国際連携専攻>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基礎科目	Research Planning I		1前・後	九州大学	1			3	3		2		17
	Research Planning II		1後・2前	釜山大学校	1			8	1		3		
	Research Methodology I		1前・後	九州大学	1			3	3		2		17
	Research Methodology II		1後・2前	釜山大学校	1			8	1		3		
	小計(4科目)	-			4	0	0	11	4	0	5	0	17
専門応用科目	Doctoral Thesis Research I	○	2後	九州大学・釜山大学校	2			10	4		2		
	Doctoral Thesis Research II	○	3前	九州大学・釜山大学校	2			10	4		2		
	Doctoral Thesis Research III	○	3後	九州大学・釜山大学校	2			10	4		2		
	小計(3科目)	-			6	0	0	10	4	0	2	0	0
合計(7科目)	-			10	0	0	21	8	0	7	0	17	
卒業要件及び履修方法													
【修了要件】 本専攻に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って10単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。													
【履修方法】 博士後期課程・前半における「Research Planning I・II」と「Research Methodology I・II」(各1単位、合計4単位)、及び博士後期課程・後半における研究グループによりセメスター(半期6ヶ月)毎に評価される「Doctoral Thesis Research I～III」(半期毎に2単位、合計6単位)の総計10単位を修得する。													

#### 【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基礎科目	Research Planning I		1前・後	九州大学	1			3	3		2		14
	Research Planning II		1後・2前	釜山大学校	1			9	4				
	Research Methodology I		1前・後	九州大学	1			3	3		2		14
	Research Methodology II		1後・2前	釜山大学校	1			9	4				
	小計(4科目)	-			4	0	0	12	7	0	2	0	14
専門応用科目	Doctoral Thesis Research I	○	2後	九州大学・釜山大学校	2			12	6				
	Doctoral Thesis Research II	○	3前	九州大学・釜山大学校	2			12	6				
	Doctoral Thesis Research III	○	3後	九州大学・釜山大学校	2			12	6				
	小計(3科目)	-			6	0	0	12	6	0	0	0	0
合計(7科目)	-			10	0	0	24	13	0	2	0	14	
卒業要件及び履修方法													
【修了要件】 本専攻に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って10単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。													
【履修方法】 博士後期課程・前半における「Research Planning I・II」と「Research Methodology I・II」(各1単位、合計4単位)、及び博士後期課程・後半における研究グループによりセメスター(半期6ヶ月)毎に評価される「Doctoral Thesis Research I～III」(半期毎に2単位、合計6単位)の総計10単位を修得する。													

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基礎科目	Research Planning I		1前・後	九州大学	1			3	3		2		15
	Research Planning II		1後・2前	釜山大学校	1			9	4				
	Research Methodology I		1前・後	九州大学	1			3	3		2		
	Research Methodology II		1後・2前	釜山大学校	1			9	4				
	小計(4科目)	-			4	0	0	12	7	0	2	0	
専門応用科目	Doctoral Thesis Research I	○	2後	九州大学・釜山大学校	2			12	6				
	Doctoral Thesis Research II	○	3前	九州大学・釜山大学校	2			12	6				
	Doctoral Thesis Research III	○	3後	九州大学・釜山大学校	2			12	6				
	小計(3科目)	-			6	0	0	12	6	0	0	0	0
合計(7科目)				10	0	0	24	13	0	2	0	15	

卒業要件及び履修方法

【修了要件】  
本専攻に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って10単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】  
博士後期課程・前半における「Research Planning I・II」と「Research Methodology I・II」(各1単位、合計4単位)、及び博士後期課程・後半における研究グループによりセメスター(半期6ヶ月)毎に評価される「Doctoral Thesis Research I～III」(半期毎に2単位、合計6単位)の総計10単位を修得する。

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の3)に準じて作成してください。
  - ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

九州大学 ・退職及び就任辞退により「Research Planning I」「Research Methodology I」兼任教員2減
釜山大学校 ・昇任等により「Research Planning II」「Research Methodology II」教授1増、准教授3増、助教3減 ・採用等により「Doctoral Thesis Research I～III」教授2増、准教授2増、助教2減

【令和7年度】

九州大学 ・退職により「Research Planning I」「Research Methodology I」兼任教員1減
釜山大学校 ・特になし

- (注) 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
九州大学	2 科目	0 科目	0 科目	2 科目	2 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	2 科目 [ 0 ]	
釜山大学校	2 科目	0 科目	0 科目	2 科目	2 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	2 科目 [ 0 ]	
共同開設科目	3 科目	0 科目	0 科目	3 科目	3 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	3 科目 [ 0 ]	

(注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
 ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	九州大学						該当無し
2	釜山大学						該当無し
3	共同開設科目						該当無し

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	九州大学						該当無し
2	釜山大学						該当無し
3	共同開設科目						該当無し

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し
------

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体  借用団地等の減少による変更(7)			
	校舎敷地	2,273,413 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	2,273,413 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	73,432,966 m <sup>2</sup> <del>73,435,182 m<sup>2</sup></del> 72,838,349 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	73,432,966 m <sup>2</sup> <del>73,435,182 m<sup>2</sup></del> 72,838,349 m <sup>2</sup>				
	合 計	75,706,379 m <sup>2</sup> <del>75,708,595 m<sup>2</sup></del> 75,111,762 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	75,706,379 m <sup>2</sup> <del>75,708,595 m<sup>2</sup></del> 75,111,762 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	649,941 m <sup>2</sup> <del>648,535 m<sup>2</sup></del> 650,189 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	649,941 m <sup>2</sup> <del>648,535 m<sup>2</sup></del> 650,189 m <sup>2</sup>	改修及び区分見直し等による変更(7)			
	( 650,189 m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( 650,189 m <sup>2</sup> )					
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室	講義室	347 室 346 室 347 室	実験・実習室	353 室 359 室 363 室	演習室	114 室 115 室	新設研究科等の専任教員研究室	8 室	用途変更による見直し(7)
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	除却及び新規購入による変更(7)	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	点			
	大学全体	4,331,103 [1,873,609] 4,314,083 <del>-(1,873,428)</del> 4,220,435 <del>-(1,808,991)</del>	81,325 [67,777] 79,963 <del>-(67,275)</del>	122,955 [77,782] <del>116,855 [72,393]</del> 119,895 [75,582]	45,221 [43,630] <del>40,049 [38,482]</del> 43,119 [41,593]	71 70 76	7,434,882		
計	(4,331,103 [1,873,609]) <del>-(4,314,083)</del> <del>-(1,873,428)</del> <del>-(4,220,435)</del> <del>-(1,808,991)</del>	(81,325 [67,777]) <del>-(79,963)</del> <del>-(67,275)</del>	(122,955 [77,782]) <del>-(116,855)</del> <del>-(119,895)</del> <del>-(75,582)</del>	(45,221 [43,630]) <del>-(40,049)</del> <del>-(43,119)</del> <del>-(41,593)</del>	(71) <del>-(70)</del> <del>-(76)</del>	(7,434,882)			
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 2) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めなくてください。

- ・「(4) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・校舎等建物の計画の変更 (校舎の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

- ・国立大学については「(5) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		九州大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
共創学部					学士(学術)				平成30年度	福岡県福岡市西区元岡744		
共創学科	4	105		420		1.12	1.01					
文学部					学士(文学)					福岡県福岡市西区元岡744		
人文学科	4	151		604		1.14	1.08		平成12年度			
教育学部	4	46		184	学士(教育学)	1.10	1.09		昭和24年度	福岡県福岡市西区元岡744		
法学部	4	189		756	学士(法学)	1.10	1.06		昭和24年度	福岡県福岡市西区元岡744		
経済学部					学士(経済学)					福岡県福岡市西区元岡744		
経済・経営学科	4	141		564		1.09	1.06		平成12年度			
経済工学科	4	85	3年次	10	360	1.13	1.07		昭和52年度			
理学部					学士(理学)					福岡県福岡市西区元岡744		
物理学科	4	55		220		1.14	1.09		昭和24年度			
化学科	4	62		248		1.13	1.07		昭和24年度			
地球惑星学科	4	45		180		1.13	1.11		平成2年度			
数学科	4	50	3年次	5	210	1.15	1.10		昭和24年度			
生物学科	4	46		184		1.15	1.10		昭和24年度			
医学部										福岡県福岡市東区高出3丁目1番1号		
医学科	6	105		651	学士(医学)	1.07	1.03	令和2年度	昭和24年度		令和2年度より入学定員変更(△1)	
								令和4年度			令和5年度より入学定員変更(△5)	
生命科学科	4	12		48	学士(生命科学)	1.16	1.09		平成19年度			
保健学科	4	134		536	学士(保健学) 学士(看護学)	1.04	1.03		平成14年度			
歯学部					学士(歯学)					福岡県福岡市東区高出3丁目1番1号		
歯学科	6	53		318		1.04	0.98		昭和42年度			
薬学部										福岡県福岡市東区高出3丁目1番1号		
創薬科学科	4	49		196	学士(創薬科学)	1.07	1.04		平成18年度			
臨床薬学科	6	30		180	学士(薬学)	1.04	1.04		平成18年度			

工学部				学士（工学）			福岡県福岡市西区元岡744
電気情報工学科	4	153		612	1.03	1.01	令和3年度
材料工学科	4	53		212	1.00	1.00	令和3年度
応用化学科	4	72		288	1.10	1.09	令和3年度
化学工学科	4	38		152	1.01	0.99	令和3年度
			3年次				
融合基礎工学科	4	57	20	268	1.04	1.01	令和3年度
機械工学科	4	135		540	1.06	1.04	令和3年度
航空宇宙工学科	4	29		116	1.09	1.08	令和3年度
量子物理工学科	4	38		152	1.10	1.01	令和3年度
船舶海洋工学科	4	34		136	1.02	0.95	令和3年度
地球資源システム工学科	4	34		136	0.95	-	令和3年度
土木工学科	4	77		308	1.06	1.06	令和3年度
建築学科	4	58		232	1.05	1.02	令和3年度
芸術工学部				学士（芸術工学）			福岡県福岡市南区塩原4丁目9番1号
芸術工学科	4	187		748	1.10	1.07	令和2年度
農学部				学士（農学）			福岡県福岡市西区元岡744
生物資源環境学科	4	226		904	1.11	1.08	平成10年度
大学全体	-	2,549	70	10,657	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあつては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教員組織の状況

### (1) ① 担当教員表

<九州大学>

#### 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾崎 明仁 <令和6年4月> 工学博士
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	教授	坂井 猛 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	教授	山口 謙太郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

#### 【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾崎 明仁 <令和6年4月> 工学博士
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	教授	坂井 猛 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	教授	山口 謙太郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

#### 【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾崎 明仁 <令和6年4月> 工学博士
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	教授	坂井 猛 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	教授	山口 謙太郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 勉 <令和6年4月> 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	准教授	鶴崎 直樹 <令和6年4月> 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専(調)	准教授	Prasanna Divigalpitiya <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	助教	木島 孝之 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 勉 <令和6年4月> 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	准教授	鶴崎 直樹 <令和6年4月> 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専(調)	准教授	Prasanna Divigalpitiya <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	助教	木島 孝之 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 勉 <令和6年4月> 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	准教授	鶴崎 直樹 <令和6年4月> 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専(調)	准教授	Prasanna Divigalpitiya <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
専	助教	木島 孝之 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有馬 雄祐 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	末廣 香織 ＜令和6年4月＞ Master of Architecture (オランダ)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	蛭川 利彦 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	堀 賀貴 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	趙 世晨 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	神野 達夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有馬 雄祐 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	末廣 香織 ＜令和6年4月＞ Master of Architecture (オランダ)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	蛭川 利彦 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	堀 賀貴 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	趙 世晨 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	神野 達夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有馬 雄祐 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	末廣 香織 ＜令和6年4月＞ Master of Architecture (オランダ)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	蛭川 利彦 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	堀 賀貴 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	趙 世晨 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼担	教授	神野 達夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	住吉 大輔 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	教授	黒瀬 武史 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	古賀 靖子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	小山 智幸 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	松尾 真太郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	佐藤 利昭 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	住吉 大輔 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	教授	黒瀬 武史 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	古賀 靖子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	小山 智幸 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	松尾 真太郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	佐藤 利昭 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	住吉 大輔 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	教授	黒瀬 武史 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	古賀 靖子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	小山 智幸 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	松尾 真太郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	佐藤 利昭 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	蕭 耕偉郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	杉山 高志 <令和6年4月> 博士(情報学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	助教	箕浦 永子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	助教	志波 文彦 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	助教	重藤 迪子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	箕浦 永子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	助教	志波 文彦 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	助教	重藤 迪子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	箕浦 永子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	助教	志波 文彦 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I
兼任	准教授	重藤 迪子 <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	南部 恭広  <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	南部 恭広  <令和6年4月> 博士(工学)
		Research Planning I Research Methodology I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

<釜山大学校>

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国 (調)	准教授 相当	Chung, Jae-oon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授 相当	Lee, In-hee <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国 (調)	教授 相当	Chung, Jae-oon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授 相当	Lee, In-hee <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国 (調)	教授 相当	Chung, Jae-oon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授 相当	Lee, In-hee <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Woo, Shin-koo ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Yoo, Jae-woo ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Yoon, Seong-hwan ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Park, Changbae ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Woo, Shin-koo ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Yoo, Jae-woo ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Yoon, Seong-hwan ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Park, Changbae ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Woo, Shin-koo ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Yoo, Jae-woo ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Yoon, Seong-hwan ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Park, Changbae ＜令和6年4月＞
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Lawrence B. Kim <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II
外国	助教相当	Jin, Keo-jin <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II
外国	助教相当	Paek, Seunghan <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Lee, Sang-ho <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Lawrence B. Kim <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II <b>Doctral Thesis Research I</b> <b>Doctral Thesis Research II</b> <b>Doctral Thesis Research III</b>
外国	准教授相当	Jin, Keo-jin <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II
外国	准教授相当	Paek, Seunghan <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Lee, Sang-ho <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授相当	Lawrence B. Kim <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II <b>Doctral Thesis Research I</b> <b>Doctral Thesis Research II</b> <b>Doctral Thesis Research III</b>
外国	准教授相当	Jin, Keo-jin <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II
外国	准教授相当	Paek, Seunghan <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	教授相当	Lee, Sang-ho <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授 相当	Oh, Sang-hoon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	助教 相当	Shin, Dong-hyeon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授 相当	Oh, Sang-hoon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	准教 授相 当	Shin, Dong-hyeon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	准教 授相 当	Huh, Yoojin <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
外国	教授 相当	Oh, Sang-hoon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	准教 授相 当	Shin, Dong-hyeon <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III
外国	准教 授相 当	Huh, Yoojin <令和6年4月>
		Research Planning II Research Methodology II Doctral Thesis Research I Doctral Thesis Research II Doctral Thesis Research III

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<九州大学>

【令和6年度】

- ・ 齋耕偉郎（兼任）准教授が退職。
- ・ 杉山高志（兼任）准教授が就任辞退。

【令和7年度】

- ・ 南部恭広（兼任）助教が退職。
- ・ 2名（兼任）が職位変更（助教→准教授）

<釜山大学校>

【令和6年度】

- ・ 1名職位変更（准教授相当→教授相当）
- ・ 3名職位名称の誤記による職位名称修正（Assistant Professor (조교) <助教相当>→Assistant Professor (조교수) <准教授相当>）
- ・ 担当科目追加（Lawrence B. Kim 教授相当は、釜山大学校で博士学位以外の実績が認められ、博士課程指導可能となる。）
- ・ 担当教員追加（准教授相当1名）

【令和7年度】

- ・ 特になし

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。原則として**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
3	3	0	2	8	0	3	3	0	2	8	0
(3)	(3)	(0)	(2)	(8)	(0)						
研究指導教員数			研究指導補助教員数			研究指導教員数			研究指導補助教員数		
うち教授数			うち教授数			うち教授数			うち教授数		
6			2			6			2		
(6)			(2)			(6)			(2)		
講義のみ担当の教員数			講義のみ担当の教員数			講義のみ担当の教員数			講義のみ担当の教員数		
17			17			14			14		
(17)			(17)			(14)			(14)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
3	3	0	2	8	0	3	3	0	2	8	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員数			研究指導補助教員数			研究指導教員数			研究指導補助教員数		
うち教授数			うち教授数			うち教授数			うち教授数		
6			2			6			2		
[ 0 ]			[ 0 ]			[ 0 ]			[ 0 ]		
講義のみ担当の教員数			講義のみ担当の教員数			講義のみ担当の教員数			講義のみ担当の教員数		
14			14			17			17		
[ 0 ]			[ Δ 3 ]			[ 0 ]			[ 0 ]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づき定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づき特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{8}{8} = 100 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = - \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する基幹（専任）教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の基幹（専任）教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和 5 年)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<九州大学・釜山大学校都市・建築学国際連携専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
変更なし	<p>JDP運営委員会の開催            日時：毎月第2木曜日 10時～11時            方法：オンライン            委員：            【九州大学側】            尾崎明仁教授（専攻長）、Prasanna Divigalpitiya准教授            【釜山大学校側】            Yoon, Seong-hwan教授、Park, Changbae教授            議題（4月）：JDP科目内容、夏季入学試験            （5月～7月）：Research Planning I および Research Methodology I の進捗            （8月）JDP科目内容            （9月）履修科目の単位認定、学生の派遣・受入            （10月～12月）：Research Planning II および Research Methodology II の進捗、冬季入学試験            （2月）履修科目の単位認定</p> <p>国際連携専攻会議の開催            日時：毎月第2木曜日 10時～11時            方法：オンライン（8月は対面）、およびメール会議            委員：九州大学と釜山大学校の専任教員            議題（4月）：JDP科目内容、夏季入学試験            （5月～7月）：Research Planning I および Research Methodology I の進捗            （8月）JDP科目内容、研究報告会            （9月）履修科目の単位認定、学生の派遣・受入            （10月～12月）：Research Planning II および Research Methodology II の進捗、冬季入学試験            （2月）履修科目の単位認定            （3月）研究報告会</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 大学設置基準第5条2項に規定されている連携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

- 1) 教育企画委員会【全学】
- 2) 外国人教員アドバイザーグループ（SIAG）【全学】
- 3) 人間環境学府教務委員会を設置している

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 教育企画委員会【全学】  
令和6年度 10回（4/18, 5/17, 6/11, 8/27, 10/17, 11/14, 12/12, 1/15, 2/13, 3/11）
- 2) 外国人教員アドバイザーグループ（SIAG）【全学】  
4回
- 3) 人間環境学府教務委員会  
毎月1回開催している。委員会構成：各コース及び専攻の教授・准教授・講師16名

#### c 委員会の審議事項等

- 1) 教育企画委員会【全学】  
FDに係る企画、実施及び支援に関すること。
- 2) 外国人アドバイザーグループ（SIAG）【全学】  
本学が国際頭脳循環のハブとして国際社会に貢献するため、本学における戦略的な国際化推進に関し、グローバル化推進本部長に意見又は提案し、取組の実施を支援すること。
- 3) 人間環境学府教務委員会  
大学院教務全般（カリキュラム、学位論文関係）、大学院入試関係

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- ・新任教員FD
- ・自殺防止メンタルヘルス研修会
- ・学内で簡単に被験者実験のモニタを勧誘・謝礼支払いができる学内リサーチコラボレータシステムについて
- ・第9回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会「研究総合大学の学校推薦型選抜・総合型選抜-戦略と展望」
- ・M2B システムの使い方
- ・学修成果をどのように可視化するか 教育学習改善に資する在り方を問う
- ・薬物依存対策研修会
- ・性の多様性を考える研修会
- ・M2B 講習会
- ・IDE大学セミナー「被災地支援と大学教育」
- ・FDE（FD in English）
- ・人間環境学研究院FD「学際研究・教育FD：令和6年度他分野連携プログラムの照会（その1、その2）」

#### b 実施方法

- ・Zoom、Teams、Webexを使用したオンライン形式
- ・対面とオンライン形式を併用したハイブリット形式
- ・オンデマンド形式
- ・オンライン（Zoom）によるワークショップ形式。一人20分。その1：3名、その2：2名。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・新任教員FD（4/4：195名）
- ・自殺防止メンタルヘルス研修会（4/26：138名）
- ・学内で簡単に被験者実験のモニタを勧誘・謝礼支払いができる学内リサーチコラボレータシステムについて（5/14：102名）
- ・第9回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会「研究総合大学の学校推薦型選抜・総合型選抜-戦略と展望」（7/21：102名）
- ・M2B システムの使い方（9/13～10/11オンデマンド：94名）
- ・学修成果をどのように可視化するか 教育学習改善に資する在り方を問う（9/27：176名）
- ・薬物依存対策研修会（9/25：138名）
- ・性の多様性を考える研修会（12/25：91名）
- ・M2B 講習会（3/7～4/30オンデマンド：96名）
- ・IDE大学セミナー「被災地支援と大学教育」（3/28：79名）
- ・Scholars and Students at Risk: How can Kyushu University Respond to Transnational Threats to Academic Freedom?（6/12：11名）
- ・COIL in ISI (Kyoso) & U of Glasgow（8/7：31名）
- ・Toward Bilingualization at Kyushu University（11/13：46名）
- ・Pension（1/22：25名）
- ・人間環境学FD（10/23：58名、11/20：57名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学習支援システムを利用して授業を行う教員の増加や、新たな教育の質向上プログラムを実施するなど、様々な改善を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施無し

b 教員や学生への公開状況，方法等

対象学生が少人数のため、個人が特定される可能性が高いことからアンケートは行わず、個別にヒアリングを行い、授業内容や指導内容などの確認を行った。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

2024年4月に九州大学から入学した学生に対して、当初の計画に従って4月～8月は九州大学において、10月～1月は釜山大学校において、それぞれResearch Planning I、Research Methodology I および Research Planning II、Research Methodology II を教育した。また、両大学の指導教員が持続循環型環境都市を牽引する人材育成を目的に共同して研究指導を行い、8月と3月には研究報告会を開催して博士学位取得に向けて研究が順調に進捗していることを確認した。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・令和9年度 公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・本専攻の最初の修了者が出た後（令和9年度以降）、両大学共同で外部評価の受審について検討中。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ a で「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。